

平成 25 年(2013 年) 10 月 1 日
教育部 生涯学習課

こなんっ子防災キャンプ

■ 趣旨・ねらい

地域において想定される災害や被災時の対応等の理解、学校等を避難所とした生活体験などの防災教育プログラムを実践する防災キャンプを実施することにより、防災教育の観点に立った青少年の体験活動を推進する。

- ①子どもたちの自主性や地域における防災に対する意識の向上を図る。
- ②外国人人口の多いことから多文化共生の視点にたった防災教育プログラムを実施することにより多文化共生にもとづく防災に対する意識の向上と地域交流を深める。

■主催 湖南省教育委員会

■日時 平成 25 年(2013 年) 10 月 5 日(土) 午後 1 時～6 日(日) 午後 0 時 10 分
[1泊2日]

■場所 湖南省市民学習交流センター(サンヒルズ甲西)
(湖南省西峰町 1-1)

■参加者 市内小・中学生 73 人、保護者 15 人

■主な活動(予定)

10 月 5 日(土)

- ・ 14:00～14:30 開所式
- ・ 14:30～16:30 ワークショップ「言葉がわからない体験ゲーム」
- ・ 16:30～17:30 避難所づくり
- ・ 20:00～22:00 講座「違いから学ぶ～海外と日本の防災～」、レクゲーム

10 月 6 日(日)

- ・ 9:00～11:00 防災体験(煙体験、救急、消火訓練等)
- ・ 11:00～12:00 グループ活動「キャンプを振り返って」
- ・ 12:00～12:10 閉会式

※12:10 国際交流事業として、「ブラジルやペルー料理で立食パーティ」を予定

■問い合わせ

担当課名： 教育委員会事務局 生涯学習課 担当者名： 奥村良道
(直通) 0748 -77- 6250 (FAX) 0748 -77-6253

体験活動推進プロジェクト「防災キャンプ推進事業」事業計画書

1. 事業名 「こなんっ子防災キャンプ」

2. 防災キャンプの実施

(1) 運営体制

市教育委員会（生涯学習課、学校教育課（市内小・中学校））
市（危機管理・防災課、新しい公共推進課）
湖南省国際協会、市社会福祉協議会、市青少年育成市民会議

(2) 防災キャンププログラム

活動趣旨：県内でもっとも外国人比率の高い地域において、外国人と一緒に、琵琶湖西岸断層帯地震による震災を想定した活動を行うことにより下記のとおり防災計画等の検証や地域で支えあうことの重要性を体験する。

- ①多文化共生推進プランや市防災計画に掲げられている災害について学び、本事業で体験をとおして防災に対する能力を身につける。
- ②出来る限り異年齢の集団による活動を行うことにより、互いの理解を深め、防災にとどまらない地域交流の機会とする。
- ③多文化共生推進プランや防災計画に基づき活動し各計画の検証の機会とする。

実施日：平成25年10月5日（土）～6日（日）

実施場所：市民学習交流センター

参加範囲：湖南省内の小学校1年生～中学3年生及びその保護者と地域住民
ただし、小学4年生以上は子どもだけの参加も可

参加人数：小学生 72人、中学校 1人、保護者 15人
うち外国人：5人、スタッフとして若干名参加予定

プログラム

日時	プログラム	プログラム詳細
10月5日（土） 13:00	受付	水戸まちづくりセンターで受付
13:30	避難訓練	防災行政無線を使って避難訓練を行う 「やさしい日本語」の活用
14:00	開会式	開会式、避難者名簿、グループ分け
14:15	防災講座①	・ 湖南省の防災 ・ ワークショップ 「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起こった？ （震災編）
16:30	居住地づくり	避難や避難所でのルール、避難所での居住地について 学び、居住地づくりを行う
18:00	夕食準備	○非常食を食べよう カレーライス（アルファ米とカレー） いろいろな非常食やグッズの紹介

19:00	夕食	○カレーライス（アルファ米とカレー）
20:00	防災講座②	研修（お互いを理解しよう） 「違いから学ぶ～海外と日本の防災～」、 レクゲーム
22:00	就寝	作った居住地で睡眠
10月6日（日）		
6:00	起床	洗顔、歯磨き
6:30	朝食づくり	牛乳パックを使ったホットドックづくり
7:30	朝食	ホットドッグ カンパン
8:00	あとかたづけ	避難所撤収
9:00	防災体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消火訓練（消火器、消火栓） ・ 救護体験 ・ 防災倉庫を見学 ・ 煙体験
11:00	ふりかえり	グループで壁新聞または絵日記づくり
12:00	閉会式	閉会式
12:10	解散	